

3月定例会

家入町長施政方針 「協働のまちづくり」が大切 副町長に徳永保則氏を承認

3月定例会を7日から22日まで16日間の会期で開きました。
開会に当たり、家入町長から

- ① 地域社会とともに進める安心と安らぎのまち
 - ② 力強く自立した農工商併進・産業の振興
 - ③ 未来を拓くふるさとづくり・教育、文化の振興
 - ④ 魅力的で快適な生活環境づくり
 - ⑤ 改革と分権の時代の新たな行財政の運営
- などの施政方針が述べられ、「大津町まちづくり基本条例」の理念に基づき、町民・行政・議会による協働のまちづくりが大切であると表明しました。



4月1日オープンした中央公園

議案説明・質疑の後、23年度補正予算を賛成全員で可決しました。
24年度一般会計・各会計予算、条例改正を3常任委員会に付託して現地調査を行い審議し、全議案を賛成全員、一部を賛成多数で可決しました。

人事案件として、上田副町長退任に伴い、現総務部長の徳永保則氏を選任。また監査委員、固定資産評価審査委員会委員の選任について全員賛成で同意しました。

23年度一般会計補正予算

国の予算措置前倒しによって美咲野小学校のプール建設、グラウンド整備と太陽光発電設置工事予算約4億5600万円が計上され工事は24年度に施工されます。

条例制定・改正

- 大津中央公園・まちづくり交流センター・歴史文化伝承館の開設に合わせ条例制定、改正。
- 介護保険条例改正
3年ごとの保険料見直しで、基準額4800円を5100円に改定。
- 町立「若草児童学園」を民営化するための「民間移譲先選定委員会」の設置に伴う条例改正などが提案されました。

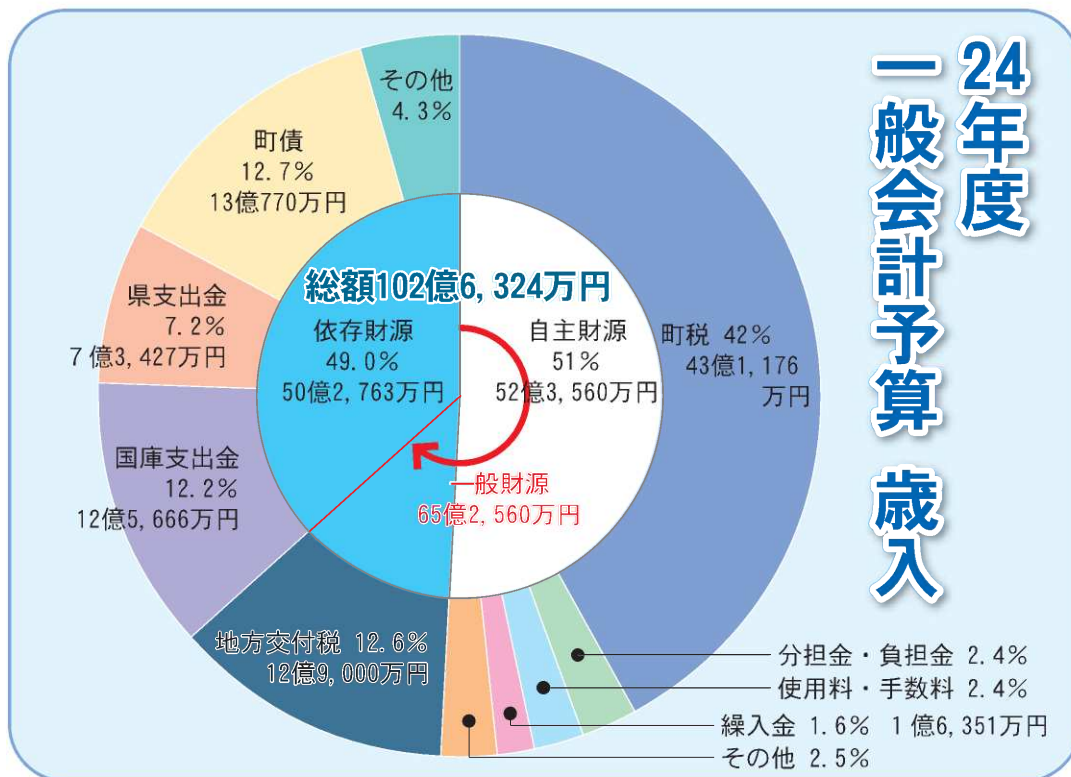
24年度一般会計予算 内訳

歳入 財源内訳			歳出 目的別 内訳		
区分	24年度	23年度	区分	24年度	23年度
自主財源合計	52億3,560万円	56億6,752万円	議会費	1億1,252万円	1億3,553万円
町税	43億1,176万円	43億2,641万円	総務費	10億8,522万円	10億8,546万円
分担金・負担金	2億4,891万円	2億3,287万円	民生費	33億5,056万円	35億8,854万円
使用料・手数料	2億5,019万円	2億5,255万円	衛生費	8億7,917万円	9億5,325万円
繰入金(基金より)	1億6,351万円	7億1,094万円	農林水産業費	4億1,537万円	4億7,516万円
その他	2億6,121万円	1億4,473万円	商工費	9,653万円	2億3,742万円
依存財源合計	50億2,763万円	54億9,477万円	土木費	13億9,867万円	19億5,482万円
地方交付税	12億9,000万円	13億	消防費	3億6,716万円	3億5,324万円
国庫支出金	12億5,666万円	11億5,804万円	教育費	11億3,575万円	10億3,547万円
県支出金	7億3,427万円	7億4,543万円	公債費	13億5,527万円	12億8,382万円
町債(借入金)	13億770万円	18億2,500万円	その他・予備費	271万円	272万円
その他	4億3,900万円	4億6,630万円	予備費	6,426万円	5,682万円
合 計	102億6,324万円	111億6,230万円	合 計	102億6,324万円	111億6,230万円

(合計は端数処理により合計が合わないこともあります。)

24年度一般会計予算

予算規模前年比△ 9 億円 総額102億6,324万円
まちづくり交付金事業の進展で
歳出 土木費 5 億5,615万円減



24年度一般会計予算
 予算総額102億6324万円（前年111億6230万円）
 歳入全体で前年比△

8・1%となっており、大型の建設事業の大半が完成したことにより、町債の借入れと基金取り崩しが約11億円減少しています。

歳出では、まちづくり交付金事業による、公園や交流センター完成に伴い、投資的経費が前年比△49%となり、大型の建設事業では都市計画道

路・駅前乗善線の工事関係費4億5797万円が主なものとなっています。「国民健康保険」の財政支援として5000万円の繰り出し金の上積み。

立石住宅他住宅補修工事に7730万円など。

